

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かたつむりクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 25日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 25日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域に出る取り組みが多いこと	公園、散歩、児童館、図書館へ行く活動がある 公共交通機関を使ってお出かけをする 買い物活動をしている 年1回、バザーを行っている 行事で近隣の小学校の体育館を借りる	雨の日など公園へ行けないときに、児童館、図書館へ個別ではなくグループで利用してみる 歩いて行ける公園をさらに開拓する
2	経験豊富な児童指導員が多く配置できている	話し合いを多く持ち、みんなで考えるようにしている 成功も失敗も次に活かせるように記録に残し、みんなで共有できるようにしている 年に1回、クリスマス会の出し物では「職員みんなが一つになって達成する」機会を設けている	経験ある人から引き継げるような若い人を募集する この仕事の魅力を発信していく
3	5領域が自然に網羅されている	もともと「生活」「遊び」「仲間」を重視していた 社会性を視野に入れた買い物活動では「自己選択」「地域交流」「コミュニケーション」ができています 作業療法の観点から遊びの中に「感覚」「運動」を取り入れている	「認知・行動」面に関して、遊びの中でどう広げていけるか、教え込みではなく、「やりたくなる」工夫ができるかを考えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がない	車両がない 送迎をすることで、職員間の意思疎通を図る時間が削られ保育に支障がでる。また保護者との伝達時間が無くなり、共感関係が薄くなる。	移動支援に頼めない場合、希望者には学校(スクールバスバス停)⇒事業所の公共交通機関を使用した徒歩送迎を行えるようにする
2	平日は下校～17時まで、祝日・土曜は9時～15時まで	長時間の保育になると夜の家庭での過ごし方に影響が出てしまい、翌日の登校に響いてしまう可能性がある 人件費がかさむので、長時間にするならば人手を減らさないといけない	常勤で働いている保護者にとって、17時終了での迎えは厳しいものがあるので、全体の時間は変えずに延長方式を検討する 職員側の働き方にも影響がでないような工夫を考える
3	マニュアル、ガイドラインの周知が徹底できていない	「5領域」「安全計画」「4つの基本活動」などについて具体的な中身については話しても、これが「5領域」ですというような周知をしていなかった(説明をすれば、「あ～なるほど」と活動と結びつく程度)	学習会で取り上げ、「わからない」ところが無いよう説明をしていく 「覚える」と忘れてしまうので、実感として感じられるよう、活動の中で意識的に声かけをしていく 保護者には保護者会やおたよりで伝える